



長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL. 095-826-8844

謹賀新年

令和八年も
たくさん笑顔に
出逢えますように!

本年もよろしくお願ひ申し上げます 令和8年 元旦

新年のご挨拶

自衛隊長崎地方協力本部長
1等海佐 佐々木 昌貴



新年明けましておめでとうございませう。旧年中に皆様から賜りました自衛隊長崎地方協力本部へのご支援とご協力に深く感謝申し上げます。昭和30年に長崎地方連絡部として創設されて以来、70年もの長きにわたり長崎において活動を続けてこられたことは皆様からの温かいご厚情の賜物であり、心から御礼申し上げます。また、昨年11月7日に実施いたしました自衛隊長崎地方協力本部創立70周年記念行事にご参加いただきました皆様、祝電を賜りました皆様には、改めて感謝申し上げます。

自衛隊は、戦略三文書に基づき、防衛力の抜本的強化に取り組んでいるところであり、組織の機能強化、新たな装備品の開発、取得による防衛能力の強化、防衛施設の強靱化、そして自衛官の処遇・生活勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立といった人的基盤の強化を進めているところであります。

さて、国際社会は既存の国際秩序に対する深刻な挑戦を受け、戦後最大の試練の時を迎えており、わが国を取り巻く安全・保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっております。中国は核ミサイル戦力や海上・航空戦力を中心に軍事力を広範かつ急速に強化させ、尖閣諸島周辺をはじめとするわが国周辺全体での活動を活性化させるとともに、台湾周辺海域で軍事演習をたびたび実施しております。北朝鮮は極めて早いスピードでミサイル開発を推進させ、弾道ミサイル技術を使用した発射を強行するとともに、ロシアへ兵士を派遣するなど、ロシアとの軍事協力を推進しています。ロシアはウクライナ侵略を継続しつつ、中国との戦略的な連携を強化し、爆撃機の共同飛行や艦艇の共同航行を行うなど、わが国周辺で活発な軍事活動を継続しています。

国内の社会情勢に目を転じてみますと、少子高齢化の影響により、深刻な人手不足社会を迎えるなか、人材獲得競争はより激しさを増し、厳しい募集環境が継続しております。自衛隊長崎地方協力本部は、防衛力の中核は自衛隊員であり、組織を支える人の充実が最も重要であると認識し、厳しい募集環境のなか、募集、就職支援、予備自衛官等の確保などの各種業務に粘り強く取り組んでおります。自衛隊長崎地方協力本部が業務を推進するうえで長崎県民の皆様のご理解と協力団体等からのご支援とご協力は不可欠であり、皆様の期待と信頼に応えるべく「県民とのかけはし」として力を尽くしてまいります。昨年、自衛隊長崎地方協力本部は創立70周年という節目を迎えましたが、本年も皆様への感謝の気持ちを忘れずに業務に取り組んでまいりますので、皆様には変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このような安全保障環境のなか、防衛省



長崎県防衛協会 会長
長崎県知事 大石賢吾

明けましておめでとうございます。
自衛隊長崎地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに長崎県防衛協会をはじめ自衛隊協働団体の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

自衛隊長崎地方協力本部におかれましては、昭和30年に長崎地方連絡部として設立されて以来、長きにわたり、自衛官の募集や就職援護活動をはじめ、災害対応や国民保護業務における自衛隊と県内自治体等との連携にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境を振り返りますと、中国は継続的に高い水準で国防費を増加させ、軍事力の質を急速に強化し、尖閣諸島周辺をはじめとする我が国周辺全体での活動を活発化させています。北朝鮮は核・ミサイル能力の向上に注力し、弾道ミサイルなどの発射を強行しています。ロシアはウクライナ侵略を継続するとともに、北方領土を含む地域での活発な軍事活動を継続しており、さらには中国との戦略的連携も確認されています。令和6年8月には、中国軍機による本県の男女群島沖への領空侵犯が行われ、県としましては、駐長崎総領事館を通じて、再発防止の申し入れを行いました。

このような厳しい国際情勢の中、自衛隊の皆様は、「わが国の平和と独立を守り、国民の安全を確保する」という崇高な使命のもと、日々厳しい訓練を重ねられ、国家防衛、災害派遣活動、国際平和維持活動など、様々な活動を通して、国内外から厚い信頼と高い評価を得られております。特に、雲仙普賢岳噴火災害における派

遣活動をはじめ、その他多くの自然災害に伴う災害派遣に出動していただいております。海上自衛隊第22航空群による離島地域からの急患搬送は、昭和33年の開始からこれまでに、3,000回を超え、長年の間、昼夜を問わず献身的な活動を賜っております。

また、昨年4月に発生した五島市での林野火災では、陸上自衛隊による迅速な消火活動を実施いただき、早期の鎮圧につながりました。自衛隊の皆様方に対する信頼はますます大きなものとなっております。県民の安全・安心を支えていただいていることに、深く感謝申し上げます。

改めて申し上げますまでもなく、自衛隊の皆様におかれましては、わが国の平和と安全を守ることはもとより、災害等への派遣活動、国際平和維持活動への参加など、大変重要な任務に日々精励されております。自衛隊の皆様は、なくてはならない存在として、国民・県民のみならず、国際社会からも厚い信頼と大きな期待が寄せられております。

どうか隊員の皆様には、国の安全を守り、国民の生命財産を守るため、引き続き活躍をいただきますようお願い申し上げますとともに、本県の安全・安心の確保に向けた取組に対しまして、さらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自衛隊長崎地方協力本部、県内の陸海空自衛隊、並びに長崎県防衛協会をはじめとする自衛隊協働団体の限りないご発展と、新しい年が関係皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人長崎県自衛隊家族会
会長 前川 要次

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、長崎県自衛隊家族会の運営に對しまして、家族会会員の皆様、自衛隊長崎地方協力本部の皆様を始め、陸・海・空自衛隊並びに自衛隊協働諸団体各位に温かいご支援とご協力賜りました事に、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、訓練中の事故・記録的な豪雨災害又、全国各地において、熱中症アラート警報が長期間発令され、猛暑に悩まされる年でした。

国内では、災害現場における災害救援活動等、国外では、南シナ海における中国の軍事力を背景とした現状変更とその事実化・度重なる尖閣諸島の領海侵犯・ロシアによるウクライナ侵攻を含む活動の活発化・北朝鮮による弾道ミサイル発射等脅威が更に増大し、こうした情勢の変化の中で、日本を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増し、離島防衛も重視される昨今であり、国民の安全確保・領土領海の維持の為に、離島防衛訓練も順調に進んでおり即応体制の強化が侵略の抑止につながるものと思っております。外においては、水上部隊による派遣海域対処行動情報収集活動等にあつてはエネルギー供給ルートの確保任務も重要で、自衛隊の各部隊の活動があつてのものと感謝申し上げますと共に、平和の有難さを痛感しているところでです。

自衛隊家族会は、広く国民の防衛意識の普及・高揚に務めると共に自衛隊に対する協力・支援等を通じ、我が国の安全保障・防衛基盤の確立に寄与することを目的としています。

私たちは、隊員の家族と言う、最も身近な存在であることに誇りを持ち、隊員の皆さんが安心して隊務に専念出来ますよう、力をあわせて自衛隊を支えようと共に、努めて各部隊の各種行事・部隊研修・部隊活動等を理解する為に参加し、より良い支援が出来ますよう家族会の充実を図っている所です。自衛隊父兄会の発足は、長崎県では昭和32年5月、対馬厳原町に発足されたのが最初で以後各市町村でも父兄会が発足されました。その後、昭和34年12月に長崎県自衛隊父兄会連合会が設立されました。各都道府県連合会の発足により昭和41年4月9日任意団体として全国自衛隊父兄会が発足され、昭和51年10月28日社団法人自衛隊父兄会設立許可新法に基づき各事業を見直し、認定を受け平成24年4月1日から公益社団法人全国自衛隊父兄会に移行、平成29年1月1日をもつて現在の公益社団法人自衛隊家族会に名称変更されました。今年、昭和51年に社団法人の認定を受け、50周年を迎える年となりました。50周年を機に自衛隊家族会の歌が募集により作成されましたので発表される事になっております。ぜひ皆さんと共に唱和したいと思っております。会員の皆さんと「家族会の信条」の達成を推進してまいりたいと思っております。皆様方の今後のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

- ◎家族会の信条
- 一、自らの国は自ら守る防衛意識を高めます。
 - 一、自衛隊員の募集・就職援護及び家族支援に協力します。
 - 一、会員数を増大し、組織の活動力を高めます。



長崎防衛協会

会長 渡邊悦治

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、令和8年の輝かしい新春をお健やかに迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、国際社会は力による一方的な現状変更やその試みが見られるなど国家間の緊張が顕在化し、更なる敵しさを増しています。とりわけ、我が国周辺の情勢は、中国による東シナ海や台湾周辺での活動の活発化、北朝鮮の核・ミサイル開発、ロシアは中国との連携を強めるなど緊迫度を一層増しております。

このように先の読めない世界情勢の中、防衛力強化のための取り組みが行われますとともに、自衛隊の皆様におかれましては、昼夜を分かたず、年末年始に関わらず、今、この瞬間も我が国周辺の海空域の警戒監視を継続され、また、日本から遠く離れた海外でも、厳しい任務に従事しておられますことに、あらためて敬意と感謝の意を表します。

自衛隊の皆様のみならず、我々国民にもこれら内外の急激に変化する状況を理解し、いかなる情勢にも適切かつ迅速に対応していく姿勢を良く覚悟が必要であると思えます。

長崎防衛協会は、名実ともに『行動する防衛協会』として今後一層の熱意をもって、地域社会と密着し防衛思想の普及に努めてまいりますとともに、自衛隊隊員の皆様の生の声を直接聞ける部隊研修や、部隊指揮官等の方々からの講演の機会を設けて、自衛隊の活動に対する理解をより深めてまいりたい所存です。さらに、自

衛隊の人的基盤強化の取組みの中、自衛官の新たな生涯設計の確立に寄与すべく、任期・定年退職自衛官雇用に係る協会内の理解を推進し、自衛隊での知識や技能を活かし、誇りとやりがいを持つ再就職支援にも引き続き取り組んでまいります。

今年も、自衛隊長崎地方協力本部の協力を得て、積極的に自衛隊の支援、防衛思想の普及並びに再就職支援に邁進したいと思えます。今後とも、関係各位のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、全国に所在する防衛省自衛隊隊員の皆様の今後益々のご活躍とご安全を心からお祈り申し上げますとともに、当協会会員をはじめ関係者皆様にとりまして、良い年となりまますように祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人隊友会 長崎県隊友会

会長 江見雅博

明けましておめでとうございます。自衛隊長崎地方協力本部の皆様及び同OB会会員の皆様には、ご家族おそろいで、新年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。

令和7年もまた、昨年に続き中国からやってきた新型コロナウイルスのため、日本中が大きな混乱の中にあります。終息とはいえないまでも、徐々にコロナ禍以前に戻りつつあります。

令和7年の隊友会の活動は、徐々に従前の活動に戻りつつあり、例年の通り、定例会、防衛講話及び懇親会を行うことができました。これも偏に皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

令和4年2月にロシアによるウクライナ侵略が生じました。隣国ロシアによる暴挙は我が国の安全保障を速やかに再構築しなければならぬことを教えています。北朝鮮の核の脅威は従前と変わらず、中国の現状変更の試みも台湾情勢や尖閣諸島の侵犯状況を見ても分かる通り、依然続いています。最近でもイスラエルとハマスの紛争があり、世界中で戦火の絶えることはありません。また、大規模災害も各地で頻発しており、自衛隊の置かれている環境は、コロナの影響を受け、とみに厳しくなっています。

漸く防衛3文書が策定され、自衛隊を真に使う構想になってきました。募集状況は、まだまだこれからともいえます。募集状況は、敵しさを増すばかりで、抜本的な処遇改善等、自衛官の給与と名誉に対する大胆な政策が望まれるところです。

その中で国民の97%以上が自衛隊に期待し、信頼を寄せていることを考えると、現役自衛官の高い緊張感を持つ勤務するご苦労に、国民の一人として、感謝申し上げていこうです。

自衛隊員が誇りを持って勤務に邁進できる環境や、任務遂行の装備の充実に向け、隊友会としても積極的に取り組んでいるところ です。

隊友会は、自衛隊と国民の架け橋となることを目標に掲げております。長崎県隊友会としては、最強の支援団体たるとも、防衛意識の普及と高揚を図るとともに、自衛隊が働きやすい環境を作るために県民の皆様への啓蒙活動を行っています。

最後に、本年が皆様にとって、良い年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



右: 海上幕僚長 齋藤 聡(あきら) 海将
中央: 江見会長
左: 江見会長夫人

■江見会長は、令和7年11月3日付で「瑞宝小綬章」を受章されました。



自衛隊長崎地方協力本部OB会
会長 三村 均

新年あけましておめでとうございます。
日本国内で任務、教育訓練に従事されて
いる長崎県出身の自衛隊員の皆さま及び
協力諸団体の皆様は、悪いニュースが多い
中、様々な不安と新たな夢や希望をもっ
て新年を迎えられたことと思います。

昨年は戦後80年の記念の年でした。戦後
6年8か月のGHQの占領期間の間に我
が国が被った政治的、心理的傷は深く国民
の精神に達し、深刻な後遺症を残したと
いえます。

良心的な世界の学問では、責罪論におい
て我が方の主張に理があることはほぼ定
説となっていると見えますが、他方旧連
合国の日本非難は元来対敵情報宣伝の性
格が濃かったものであり、今になってもお
大衆動員型の煽情的日本非難の本が刊行
されたりしています。

小堀桂一郎東大名誉教授は、「官学アカ
デミズム」に属する学者はGHQ占領期間
中にその占領政策基本方針に迎合する立
場をとった故に、それが自己の体質とな
り、独立回復後も依然としてその偏向か
ら脱却できず、占領期の先学達の思考に
束縛されたままである」と、警鐘を鳴らし
ています。

近現代史を広く世界的観点から見るな
らば、我が国が国際社会において果たし
た役割には深く誇りを持つべきでありま
す。大東亜戦争の成果として、我々は欧米
人の人種差別に挑戦し、アジアの植民地

支配を倒して広汎な民族解放に成功しま
した。

時あたかも高市新首相は就任以来、防
衛力の抜本的強化を唱えています。防衛
費と関連経費の合計を対国内総生産比
2%とするとの国家安全保障戦略に定め
られた目標や、さらなる防衛力強化を視
野に入れた安全保障関連3文書の前倒し
改定を表明しました。

国際金融資本を背景に国連を利用した
グローバリズムの進行に悼さして、世界的
にナショナリズムの台頭の兆しが見え始め
た今こそ、家族、共同体の絆を大切にしま
した我が国日本も戦後レジームから脱却
して、力を揮って世界秩序の安定に寄与す
るといふ使命に誇りを持って突き進む時
だと思えます。

令和8年の新年を迎えられこの1年が、
皆様により良き年になることを祈念申
し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



長崎地本 各課・各所・各センター別 新年の抱負



総務課 千軍万馬を目指し、尽力する年に!!



副本部長 午年の本年、スピード感をもって
駆け抜けていきます!



援護課 何事もウマくいこう全力サポート!



募集課 人生万事塞翁が馬、一喜一憂せず千里の道も
一歩から、愚直に募集して参ります。

諫早地域事務所

何事もウマくいくために、所員一同一致団結して笑を絶やさず頑張ります！

大村地域事務所

一致団結 飛び跳ねて駆けていく一年に！

佐世保出張所

新規開拓

長崎募集案内所

午年！すべてがうま(馬)いく年 明るく前向きに頑張ります!!

琴海地域事務所

馬九行久(うまいく)

島原地域事務所

馬車馬の如く 働いて働いて働いて...

対馬駐在員事務所

募集対象者に馬く(上手く)説明し 志願票獲得に繋げる。

本年も各課・各所各センター！
一丸となって
募集・援護・予備自・広報活動に
邁進して参りますので
ご理解とご協力を
よろしくお願ひ申し上げます。

令和八年 元旦

壱岐駐在員事務所

馬力上げて募集業務に努めます!! 本年もよろしくお願ひします。

上五島駐在員事務所

今年もうま(馬)くいきますように！

五島駐在員事務所

勤儉力行(きんけんりっこう)の 精神で、目標達成！

相浦駐屯地援護センター

希望する再就職へのかけはしと なるよう誠心誠意援護します。

大村駐屯地援護センター

型は古いが、馬力はあります。 再就職援護全力サポートします。

長崎地域援護センター

援護して援護して 援護して援護して援護してまいります。

自衛隊長崎地方協力本部の 公式ホームページ・X・インスタグラムへ はQRコードからアクセス！

長崎地本公式HP
長崎地本公式X
長崎地本公式Instagram

2026年男

<p>五島駐在員事務所 非常勤職員 川道 弥徳</p> <p>健康第一で、頑張ります。</p>	<p>長崎地域援護センター 非常勤職員 山道 信義</p> <p>蹄鉄(靴)で、減るくらい情報獲得に走り回ります。</p>	<p>総務課 防衛事務官 副田 英一</p> <p>一歩ずつ、丁寧に進みます。</p>	<p>大村駐屯地援護センター 隊長 坂田 浩志</p> <p>馬車馬の如く！働いて働いて、働いてまいります！</p>	<p>琴海地域事務所 准陸尉 赤波 江真治</p> <p>健康第一！</p>	<p>総務課 人事班 防衛事務官 川辺 憲祐</p> <p>馬車馬のように働いてまいります。</p>	<p>募集課 募集班 3等陸佐 山本 利和</p> <p>心は熱く、頭は冷静に。</p>
--	--	--	---	---	---	---

自衛隊長崎地方協力本部



創立70周年記念行事

自衛隊長崎地方協力本部は、これまで支えていただいた皆様のお陰を持ちまして創立70周年を迎えることができました。今後も「県民とのかけはしになる」を基本方針に、皆様と連携を図りながら部員一同が一致団結し、自衛官募集、就職援護及び予備自衛官等の業務にまい進してまいりますので、引き続き皆様からのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
(総務課総務班)

少という厳しい採用環境の中であつても、自衛隊が各種任務を適切に遂行するために、優秀な人材を安定的に確保していかなければならず、募集対象者等に対して、自衛隊の任務や役割、職務の内容、自衛官の処遇、生活勤務環境の改善状況等を丁寧に説明し人材を募ってまいる所存です。」と決意を述べた。



祝賀会において祝辞を述べる 佐世保地方総監 福田達也海将

11月7日(金)、自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、自衛隊長崎地方協力本部OB会(会長 三村均氏)との共催により、「自衛隊長崎地方協力本部創立70周年記念行事」を実施した。
はじめに感謝状贈呈式において自衛隊長崎地方協力本部の活動に対し、日頃よりご協力及びご支援を頂いている方々へ本部長から感謝状を贈呈した。
次に、祝賀会においては国会議員をはじめとする来賓各位からご祝辞を頂くとともに各自自治体、企業、協力諸団体及び各部隊長など多数のご臨席を賜り、盛大に執り行うことができた。本部長は、謝辞にて自衛隊長崎地方連絡部開隊以来70年の長きに亘り自衛官募集、就職援護及び予備自衛官等の業務に関して各協力団体、関係企業、長崎県民の皆様からこれまで頂戴してきたご支援ご協力をに対し、厚く感謝を申し上げるとともに「少子化による募集対象者人口の減



感謝状贈呈式において本部長より表彰される 香城市長代理 中上良三 香城市副市長



祝賀会において謝辞を述べる本部長



祝賀会において和やかに歓談する参加者

就職援護広報 沖縄地区 部隊研修について



第15ヘリコプター隊見学の様子



第5航空群司令部との意見交換の様子

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も就職援護対象隊員について就職基盤の拡充を図るべく、隊員を採用していただく有用性について、各企業からより深くご理解を頂けるよう丁寧に活動を推進していく所存です。(援護課 長崎地域援護センター)

当初、沖縄本島への台風26号の接近により就職援護広報の実施が危ぶまれたものの参加者の日頃の行い(？)のおかげで、晴天の中実施することが出来た。今回は、これまで退職自衛官を採用していただいた3社の方々を招待し、各部隊の概要説明、隷下部隊の活動状況や装備品等の見学を行った。
第15ヘリコプター隊隊長 藤井健夫1等陸佐と第5航空群の装備品見学では、間近で見るとヘリコプターや航空機の大きさに圧倒されつつ、説明する隊員に積極的に質問するなど、自衛隊に対する理解と認識を深めていただいた。

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、令和7年11月13日及び14日に、陸上自衛隊第15旅団旅団長 泉英夫陸将補)及び海上自衛隊第5航空群(群司令 平木拓宏海将補)の支援を受け、就職援護広報として那覇駐屯地及び那覇航空基地において部隊研修を実施した。

自衛隊長崎地方協力本部 諫早地域事務所(所長 上田和彦2等陸尉)は10月26日(日)、諫早市小長井町における小長井フェスティバルに参加し、募集広報活動を実施した。
自衛隊広報ブースには約250名が訪れ、広報ブースでは、第3水陸機動連隊(竹松)連隊長 高田剛一1等陸佐)の支援を得て装備品パギー)の展示や制服試着体験、カプセルトイによる自衛隊グッズの配布コーナー等を設け、来場者に対し、自衛隊の認知度向上及び魅力の発信を図ることができた。

諫早地域事務所は、引き続き多くの諫早市民及び募集対象者に自衛隊に対する理解を深めて頂き、志願者や入隊者の増加に繋がるよう、積極的な募集広報活動に努めていく所存です。(諫早地域事務所)

小長井フェスティバル



第3水陸機動連隊(竹松)のパギーに笑顔で乗車する親子



制服試着を楽しむ子供たち



カプセルトイに夢中な子供たち



SH-60J 体験搭乗

■写真撮影を楽しむ募集対象者

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、令和7年11月29日(土)、第22航空群(群司令 行松栄治海将補)の支援を受け、大村航空基地において、海上自衛隊のSH-60Jによる体験搭乗を実施した。

当日は募集対象者14名が参加し、はじめに海上自衛隊及び大村航空基地の概要説明や職種が紹介されたのちに、搭乗時の注意事項等の説明を受けて、体験搭乗が開始された。

体験搭乗においては、SH-60Jの迫力に驚きの表情を浮かべながら機内に搭乗する様子や、隊舎の屋上からSH-60Jの写真撮影を楽しむ様子が多く見られた。

■搭乗のため機体に対し直角に移動する募集対象者

自衛隊長崎地方協力本部は、今後もこのようなイベントを通して、より多くの方々に自衛隊に対する理解を深めることに努め、自衛隊の魅力を発信していく所存です。(募集課広報班)

■制服着用写真のプレゼント

自衛隊長崎地方協力本部島原地域事務所は、今後も島原半島の様々なイベントに参加し、多くの方に自衛隊に対する理解を深めて頂き、自衛隊の志願者増加に繋がるよう積極的な募集活動に努めていく所存です。(島原地域事務所)

■制服を着用し車両での写真撮影をする来場者

自衛隊長崎地方協力本部島原地域事務所(所長 野口秀貴1等陸尉)は、11月9日(日)、J.A.グリーン南島原店堂崎埋立地において、「南島原市フードエキスポ2025」に南島原市自衛隊家族会による自衛隊グッズ販売に合わせ、自衛隊広報ブースを出展した。南島原市フードエキスポは、南島原市主催のイベントであり、例年秋頃に開催され南島原市の特産品を一堂に会した物産展を開催し、市内外問わず毎年多くの来場者で賑わうイベントである。島原地域事務所は、本年度も自衛隊広報ブースで、自衛隊車両展示(1/2トトラック)、制服試着体験パネル展示、グッズ配布及びアンケートを実施した。本広報ブースには、家族連れが多く来訪し、制服を試着した子供達が展示車両の前で写真撮影や車両に乗車して、自衛隊に興味をもつて頂いた。

また、先着30名の方に広報官が撮影した写真をプレゼントし、多くの方々に「うれし」「ありがとう」ございます等の感謝の言葉を頂いた。南島原市自衛隊家族会においても、自衛隊のグッズ販売、制服試着及びグッズ配布等の支援をいただき、自衛隊広報ブースの来場者数は約600名と自衛隊の認知向上に貢献した。

■自衛隊家族会による物品販売及び自衛隊広報ブース

自衛隊長崎地方協力本部島原地域事務所(所長 野口秀貴1等陸尉)は、11月9日(日)、J.A.グリーン南島原店堂崎埋立地において、「南島原市フードエキスポ2025」に南島原市自衛隊家族会による自衛隊グッズ販売に合わせ、自衛隊広報ブースを出展した。南島原市フードエキスポは、南島原市主催のイベントであり、例年秋頃に開催され南島原市の特産品を一堂に会した物産展を開催し、市内外問わず毎年多くの来場者で賑わうイベントである。島原地域事務所は、本年度も自衛隊広報ブースで、自衛隊車両展示(1/2トトラック)、制服試着体験パネル展示、グッズ配布及びアンケートを実施した。本広報ブースには、家族連れが多く来訪し、制服を試着した子供達が展示車両の前で写真撮影や車両に乗車して、自衛隊に興味をもつて頂いた。

■海上自衛隊航空学生のカリキュラムについて説明

自衛隊長崎地方協力本部は、今後ともより多くの募集対象者に自衛隊の魅力を知り、興味関心を持ってもらい、志願者や入隊者の増加に繋がるように、自衛隊ジョブガイダンス及び各種目説明会を定期的に開催していく所存です。(募集課計画班)

■広報官及びリクルーターから説明を受ける来場者

当日は、フライヤーの配布、SNSでの告知、広報官からの声掛けにより、午後1時30分から4時までの開催期間内に多くの方が来場し、自衛隊への興味を惹くことができた。

また同時に開催した航空学生説明会では大村市に所在する海上自衛隊第22航空群(群司令 行松栄治海将補)に所属する現役のパイロットを招へいし、航空学生の制度概要について、経験談を交えて説明を実施した。

本ガイダンスは、主に転職希望者及び求職者をターゲットにしたガイダンスで、①採用種目の募集別コーナー、②制服試着模擬コクピット体験、動画視聴などの広報展示コーナー、③リクルーター等との懇談コーナーを開設し、転職希望者及び求職者に自衛隊入隊後のイメージを浮かべ、自衛隊の魅力の訴求を目的として計画した。

■海自制服を着用し、模擬操縦機を楽しむ来場者

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、令和7年11月9日(日)、防衛省長崎合同庁舎において、自衛隊ジョブチェンジガイダンス及び航空学生説明会を開催した。

Job & Job Change Guidance



創立45周年 対馬駐屯地 並びに



開庁69周年 海栗島分屯基地 記念日行事

自衛隊長崎地方協力本部対馬駐在員事務所(所長 小野新一郎陸曹長)は、9月14日(日)、15日(月)に開催された陸上自衛隊対馬駐屯地(駐屯地司令 山田憲和1等陸佐)創立45周年記念行事及び11月16日(日)に開催された航空自衛隊海栗島(※)分屯基地(基地司令 濱中良太2等空佐)開庁69周年記念行事において、それぞれ募集広報ブースを開設して自衛隊のPRを実施した。

陸上自衛隊対馬駐屯地創立45周年記念行事においては、航空救難団飛行群入間ヘリコプター空輸隊(入間)から航空自衛隊アクティブブリックルーターとして内山佳奈美3等空曹による支援を受けた。14日(日)の前日行事(自衛隊音楽演奏会)では募集対象者等への広報グッズの配布、15日(月)の本行事においては、島内最大のショッピングセンター敷地内(対馬)に所在する陸海空自衛隊部隊による市中パレード時と対馬駐屯地内装備品展示等の会場)にそれぞれ募集広報ブースを開設し、グッズの配布、VR体験、缶バッジ作成体験等を実施した。また、航空自衛隊海栗島分屯基地開庁69周年記念行事においては、祝賀会会場内に広報ブースを開設し、祝賀会出席者へのパンフレット等の配布、ステージイベントに出演した子ども達へのグッズの配布を実施した。

対馬市民の皆様には日頃から自衛隊への高いご理解を頂いておりますが、現状に満足することなく、今後とも対馬島内所在の各部隊と連携協力しつつ、様々なイベントに積極的に参加して、自衛隊の魅力を発信していく所存です。(対馬駐在員事務所) ※海栗島：うにじま



祝賀会食における分屯基地司令による謝辞



前日実施された、第4音楽隊による自衛隊音楽演奏会



対馬駐屯地に出展した対馬所在3自衛隊と長崎地本合同による募集広報ブース

対馬地域の皆様には、引き続き地域の方々とは自衛隊との縁となり、募集広報活動において日々前進してまいります。(大村地域事務所)

当日は天候にも恵まれ、家族連れでの来訪者(約600名)が多い中、募集広報ブース、カプセルトイ、制服試着体験、VR体験をして楽しんでもらい、地域の方々へ自衛隊に対する更なるイメージアップに繋がった。

特に、カプセルトイには多くの子供たちが参加し、抽選でプレゼントした自衛隊グッズに大喜びであり、イベントは大盛況であった。広報ブースにて説明を聞いて、自衛隊に深く関心を持ってくれた募集対象者もあり、一定の募集活動成果を得ることができた。

自衛隊長崎地方協力本部大村地域事務所(所長 上古閑誠2等陸尉)は、令和7年11月8日(土)、大村ポートレース場(大村市玖島1丁目)において、昨年に引き続き第3水陸機動連隊(連隊長 高田剛一1等陸佐)と連携し「自衛隊ふれあいイベント」を実施した。

■募集相談のご質問に対応する大村所広報官

■カプセルトイを楽しみ観子連れ



志岐所のブースに毎回立ち寄ってくれるご家族



農協まつりに空々嶺自衛隊車両、左から第16普通科連隊の高機動車及び軽装甲車、志岐所の172Rドラック

自衛隊長崎地方協力本部志岐駐在員事務所(所長 柳澤武美1等陸曹)は、令和7年11月8日(土)9日(日)に開催された第39回農協まつり(志岐市)に募集広報ブースを出展した。例年は二日間とも出展しているが、今年度は翌日に志岐市防災訓練が計画されているため、8日(土)のみ出展した。

志岐駐在員事務所は、次年度もいろいろなイベントに募集広報ブースを出展し自衛隊の更なるアピールに努め、一人でも多くの受験希望者を獲得すべく邁進していく所存です。(志岐駐在員事務所)

当日ブース前に高機動車、軽装甲機動車を展示したところ、島内で見ることのない、見たことのない、触れたことのない自衛隊車両に小さな子供連れの家族から募集対象者、自衛隊OBなど、多くの方々が集まり、大盛況に終えることが出来た。

当日ブース前に高機動車、軽装甲機動車を展示したところ、島内で見ることのない、見たことのない、触れたことのない自衛隊車両に小さな子供連れの家族から募集対象者、自衛隊OBなど、多くの方々が集まり、大盛況に終えることが出来た。

防災訓練に合わせた志岐市の災害時における防災担当中隊である第16普通科連隊第3中隊(中隊長 木村謙3等陸佐)が来島するとの事で、事前に農協まつりの開催について説明の上、車両展示の依頼をし、第3中隊長をはじめ隊員の支援を受けることが出来た。

■今年の統一期に自衛官候補生を受験した、地元の高校生

自衛隊長崎地方協力本部志岐駐在員事務所(所長 柳澤武美1等陸曹)は、令和7年11月8日(土)9日(日)に開催された第39回農協まつり(志岐市)に募集広報ブースを出展した。例年は二日間とも出展しているが、今年度は翌日に志岐市防災訓練が計画されているため、8日(土)のみ出展した。